

## 平成 30 年度第 2 回広島県公立大学法人評価委員会議事要旨

- 1 日 時 平成30年7月25日(水) 14:00~15:05
- 2 場 所 サテライトキャンパスひろしま 5階503会議室(広島市中区大手町一丁目5-3)
- 3 出席委員 金安委員長, 曾余田委員, 山川委員, 福田委員
- 4 議 題 平成29年度業務実績評価案について
- 5 担当部署 広島県環境県民局大学教育振興担当大学振興グループ  
電話(082)513-2752(ダイヤルイン)

### 6 会議の内容

事務局から, 配付資料により, 業務実績評価(案)の説明があった。

委員の意見に基づく業務実績評価(案)の修正については, 委員長に一任のうえで調整を図ることが了承された。

○: 委員発言      ◎: 県発言
---------------------

### 【委員意見】

- 評価結果(案)の10ページにある「No.10 学修時間の実質的な増加・確保とその的確な把握」の中で, アクティブラーニングを推進するための「学修支援アドバイザー」は用語説明が必要ではないか。
- 評価は「4」でよいが, そのためには, 学修支援アドバイザーの養成により学習時間が伸びたというのを, 評価の特記事項に明記してもらいたい。
- 評価結果(案)の12ページにある「No.30 社会的評価を有する審査・試験の積極的な活用による学修成果の検証」について, 各種試験の合格率が平成29年度の目標に届いていないものや, 中期目標数値に届きそうにないものもあるが, 委員会の評価として「3」でよいか。
- TOIEC のことだけでなく, 中級バイオ試験など他の数値を勘案しての評価なのか。
- ◎ そうである。
- TOIEC 700点以上の目標は, 昨年の21.2%から15%に落ちているし, 情報処理技術者は37.9%であるが最終目標の60%には達していない。中級バイオ技術者試験は昨年度の88.3%から71.8%に下がっている。目標を下回っていることと, 下がった原因を究明するよう意見を記載して, 「3」でよいと思う。
- 評価結果(案)の11ページの「No.24 英語力の全学的な養成」について, TOIEC 450点以上という目標について, 能力のある(得点力が高い)人ばかりが受検して英語が苦手な人が受検しなくなったということではいけない。気になるので大学に確認してもらいたい。
- この項目では受検率を問題にしていない。
- ◎ 受検率が下がったのは, 受検日が学外学習と重なったことが原因である。
- 受検率が下がった原因を, 評価の特記事項に明記した方がよい。
- 全学的な語学向上のために, eラーニングの積極的な活用を図るといった対策は評価できる。
- 評価結果(案)の14ページの「競争的資金の獲得支援」「共同・受託研究の積極的受入」については, この書き方だと「4」の評価と受け取られる。「3」にした理由があるのではないか。
- 目標は達成しているが, 昨年と比べれば外部資金の年間獲得総額は低減傾向にあるので, 引き続き, 研究資金の獲得に努めるようコメントを入れてはどうか。
- 評価結果(案)の13ページの「No.48 就職支援」に関して, 庄原キャンパスの利用率が低い点

について、研究室ごとに企業とマッチングができているのであれば、研究室がキャリアセンター機能を果たしていることもありえる。

- 理系はもちろん、文系学部でも企業から研究室に学生の推薦依頼がくることもある。
- キャリアセンターの必要度が低いのであれば、そこに人員を割くのはどうかと思う。各キャリアセンターで実態にあった支援が受けられれば、よいのではないか。評価は「4」でよいと思う。

## 7 会議の資料名一覧

### 【配付資料】

資料1 平成29事業年度公立大学法人県立広島大学業務の実績に関する評価結果（案）

資料2 （別冊）項目別の状況（案）

参考資料1 平成29年度業務の実績に関する報告書（抄）

参考資料2 平成29年度業務の実績に関する報告書附属資料